
くりの　げじくりちゃんと、
ぎんなんの　げじぎんなちゃんは、
なかよしです。
「こんにちは、げじくりちゃん。」
「こんにちは、げじぎんなちゃん。」
あきになって　いっしょにあそべるので、
ふたりとも　おおよろこびです。
さあ、なにして　あそぼうか。

「げじくりちゃん、おちばがきれいだから、
　おちばをひろって　あそぼうよ。
　たくさんひろったほうが　かちね。」
「わかった。
　あるいているひとに　ふまれないように、
　おたがいに　きをつけようね。」
「よーし、よーい、どん。」

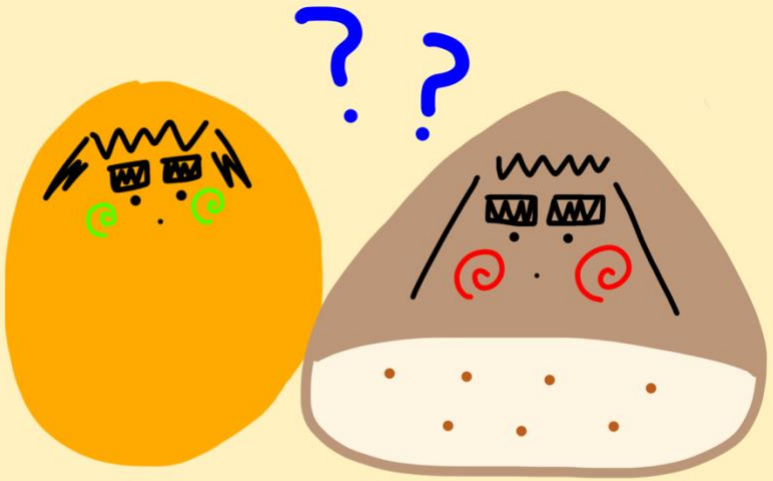


げじくりちゃんと　げじぎんなちゃんは
たくさんのおちばを、
いっしょうけんめいに
あつめたので、
きがつくと、
おちばの　ベットが
かんせいしていました。

「わーい、いっぱいあつめたから、
　ふかふかで　きもちーい。」
「きれいないろが　いっぱいで
　すてきだね。」
「よく　ねむれそうだね。」
「いいゆめ　みれそうだね。」
ふたりとも、すてきで　ふかふかの
おちばのベットに、だいこうふんです。



あれ？ところで、
おちばをたくさん　あつめたのは
どっちだろう？
おちばのベットが　できたことが
うれしすぎて、かちまけのことを
すっかりわすれていました。



げじくりちゃんと、げじぎんなちゃんは、
こんかいは
ひきわけにすることにしました。
「すてきなベットで　あそべて
たのしかったね。」
「らいねんのあきにも
またいっしょに　あそぼうね。」

おしまい。

